

## National Priority List シリーズ 1

## 「新しく九カ所の危険汚染地帯をスーパーファンド、NPL に追加」

EPA ウェブ 井上明子 翻訳

EPA は、2004 年 7 月 22 日、新しく九カ所の危険汚染地帯をスーパーファンド全国浄化優先順位リストに追加した。この九カ所は、鉱山跡、材木処理場跡、製造工場、地下水が汚染されている地域である。更に、この地帯は、鉛、ヒ素、ポリ塩化ビフェニル(PCBs)、揮発性有機化合物という様々な汚染がみられる。

EPA はこれらの地帯を次のような様々な要因に基づいて選択した。1)人体と環境への危険度 2)緊急の対応を必要としているか 3)基金にいくら頼る計画であるか 4)強力な実施計画が持続されるかどうか 5)外部の人々による清掃の協力があるか 6)国、部族、地域が NPL に加えるためにどれだけ補助しているか。九カ所は次の通りである。

1. ジェイコブスヴィル近郊土壌汚染、エヴァンスヴィル、インディアナ州
2. アナポリス鉛鉱、アナポリス、ミズーリ州
3. ピカユーン材木処理、ピカユーン、ミシシッピー州
4. グランツ塩素化溶剤噴出水流、グランツ、ニューメキシコ州
5. ディアス化学薬品会社、ホーリー、ニューヨーク州
6. ペニンシュラ プールヴァード地下水噴出、ヒューレット、ニューヨーク州
7. ライランド ロードヒ素、ハイデルバーグ タウンシップ、ペンシルベニア州
8. シードラ地下水汚染、シードラ、プウェルトリコ
9. パイク ヒル銅山、コリンズ、ヴァーモント州

ニューヨーク州ホーリーのディアス化学薬品会社（ディアス）は、長年、近郊住宅地に化学薬品を垂れ流して来た。2002 年 1 月には、気体の漏れにより、有害化学薬品(2-クロロ-6-フルエルフエノールとトルエン)の凝固した粒が 0.3 マイル以内にある家屋や車に積もった。加えて、その地の土と地下水は、揮発性また半揮発性物質で汚染されている。その地の地下汚染には、地下水処理システム（EPA が運営している）が必要とされる。EPA はその地で、次のようないくつかの対応を行っている。例えば、影響を受けた住民が家を離れて一時的に引っ越す際の補助や、この汚染地と近隣住宅地における集中的調査など。EPA はまた、ディアスがここを離れる際に施設の裏に残した危険物質の撤去も行っている。現在まで、EPA は 2400 のドラム缶と 40,000 ガロンにも及ぶ大量の化学薬品を運び出した。

NPL とは、改善のための活動がほぼ保障されている危険な汚染地帯のことである。EPA は州、部族、地域社会、またその他のパートナーと協力して、その土地の再利用の方法や機会を探ろうとしている。昨年発表されたその土地の再生計画に基づき、EPA はどの地でも公の計画のひとつとして、再生と再利用を含むようにしている。国内で、70%以上ものスーパーファンド地が、汚染に責任のある人々によって浄化されている。スーパーファンドプログラムの設立以来、EPA は公害犯人から浄化義務として、220 億ドル以上を集めている。

この新しい九つの地を NPL に加えるという最終決定で、現在最終的に 1,245 の地が NPL (1,087 の非連邦地と 158 の連邦地) 上にあり、最終的な EPA の活動を待っている。(50 の非連邦地と 6 つの連邦地)。EPA は 899 の地域の創出を終えた。最近提案中の地域、最終決定地域に関する公報、補足資料は、新しい NPL (New NPL Sites page) 地ページへ。